



香りによるアルツハイマー型認知症の改善

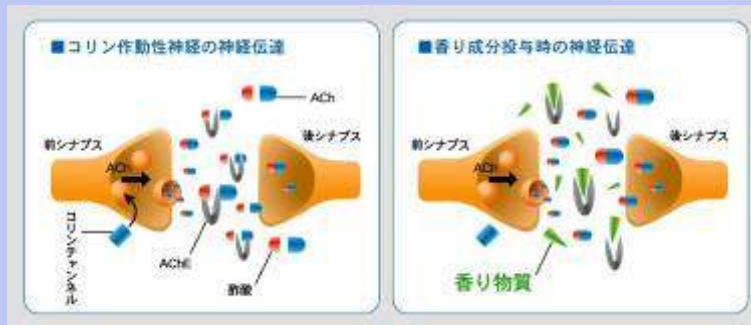
キーワード 芳香療法、ティートリーオイル、アセチルコリンエステラーゼ阻害(AChE 阻害)、アルツハイマー型認知症

研究内容の概要： 植物の精油を有効成分とする新規な AChE 阻害剤を開発しました。

芳香療法

日常の生活空間で“香り”を楽しむ
+
体内に吸収された香り物質による疾患の改善・予防効果

作用機序



香り物質の効果により脳内のアセチルコリン濃度が上昇、認知機能障害の改善が期待できる。



双環性モノテルペン・ティートリーオイル

強い AChE 阻害活性を示す双環性モノテルペン類を特徴的成分とするティートリー系精油を開発した。

特長／効果

- 香りを楽しみながら認知機能の改善効果を得ることができる。
- 高い安全性
- 高齢者にも緩和な効果が期待できる。
- 広域分野(インテリア用品, 食品, 化粧品等)への応用が容易

利用／用途

- 老人介護施設などで用いる芳香療法剤
- 機能性雑貨品(アロマセラピー用エッセンシャルオイル)
- 食品(健康機能食品、フレーバー)
- 化粧品(香水、香料)

知的財産権等情報		理工学部 応用化学科	宮澤 三雄
特許出願	特開 2006-131589	http://ccpc01.cc.kindai.ac.jp/sci/ouyou/index.html	
論文等	2 編		

連絡先： 近畿大学 リエゾンセンター(KLC) 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1
 TEL:06-6721-2332 FAX:06-6722-0300
 e-mail: klc@itp.kindai.ac.jp URL: <http://ccpc01.cc.kindai.ac.jp/KLC/index.html>